



～誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて～ 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」に取り組みます

なぜ、生協が

平和の活動を

しているの？

全国の生協の最も原則的なスローガンのひとつ『平和とよりよい暮らしのために』。平和な世の中であってこそ、よりよい暮らしが営めるのだという、生活協同組合の願いが込められています。

76年前、日本も悲惨な戦争を体験しました。国民は言葉では言い表せないほどの苦難を経験し、生協も解散を余儀なくされた時期もありま

した。「戦争（紛争）」は、いのちと暮らしを守り、人とひとのつながりを大切に、という生協の願いとは正反対のものです。

こうした悲惨な経験を踏まえて、生協は、核兵器や戦争の悲惨などを学び継承し、二度と戦争を繰り返さないこと、戦争だけでなく、飢餓や貧困、差別や人権など「平和の尊さ」を多くの方に広めるために、平和活動を行っているのです。

戦争被爆国日本が先頭に立ち、核なき世界への松明を

2017年に国連で採択された「核兵器禁止条約」*（核兵器の開発・実験・保有・使用や使用の威嚇などを禁止した条約）は、2021年1月22日「国際法」としての効力を発効しました。でも、条約が出来たからといってすぐに核兵器が無くなるわけではありません。核保有国（現在核兵器を持っている国々）や、日本のように「核の傘」*で守られている国々は条約に参加しないと見られています。核兵器のない世界を実現するためには核保有国だけではなく、全ての国のちからが必要です。

カナダ在住の被爆者、サーロー節子さんは「核兵器は必要悪ではなく、絶対悪。私たち原爆で生き残った者は『二度とあいつことが起きてはいけない』『あれ

は人間が経験すべきことではなかった』という確信を持っています。日本が先頭に立って人道的な、道徳的な松明をかざし、核兵器廃絶にむけてともに行動しましょう」と訴えています。

日本原水爆被害者団体協議会の呼びかけに応え、生協でも取り組む署名に、みなさんからのご協力をお願いいたします。

※核兵器禁止条約

2021年1月22日に発効した、史上初めて核兵器を全面に禁止する国際条約。あらゆる核兵器の開発、実験、生産、保有、使用を許さず、核で威嚇することも禁じている。2017年7月に国連加盟国の6割にあたる122ヶ国・地域の賛成で採決された。核保有国や核の傘に頼る日本政府などは参加していない。

※核の傘

核保有国が同盟国に核兵器の抑止力を提供し、安全を保障すること。米国は北大西洋条約機構（NATO）加盟の欧州諸国や日本、韓国などに対し、同盟国に加えられた攻撃については、米国への攻撃と同様にみなして報復するとの保障を与えている。



おうちで
学習



インターネットで戦争体験や被爆証言を聞いてみよう

お家で、お子さんやご家族で平和についての学習をしてみませんか？パソコンやスマートフォンからご覧になれます！

- NHK戦争証言アーカイブス
<https://www.nhk.or.jp/archives/shogenarchives/>
- yahoo未来に残す戦争の記憶
<https://wararchive.yahoo.co.jp/>

- 広島平和祈念資料館平和データベース被爆証言
http://a-bombdb.pcf.city.hiroshima.jp/pdbj/search/col_testify
- 長崎平和推進協会YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UC3hUa9zwiiLArr-DLzMySg>

2021年度7月「班長・組合員のつどい」資料

おうちでつどい STAY・HOME

生活協同組合 共立社

〒997-8588 山形県鶴岡市宝田一丁目3-23 ☎0235 (22) 5110
<https://www.yamagata.coop>

生協では年に2回「班長・組合員のつどい」を開催し、生協からの情報を伝え、組合員との交流を深めています。今年も昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「班長・組合員のつどい」は「おうちでつどいSTAY・HOME」として、資料をお送りして、みなさんから感想やご意見を頂く方式で開催します。おうちで一人で、またはお子さんやご家族と一緒に資料をご覧ください、生協の取り組みについてご意見やご感想をお寄せ下さい♡

11

住み続けられる
まちづくりを

第42回 共立社通常総代会が終了しました！

2021年度も
共立社では

「いつまでも住みつづけられる
まちづくりを協同の力で実現」します

6月15日火、書面で意思表示する出席を中心に496名が出席し*、第42回共立社通常総代会が開催され、全ての議案が圧倒的多数で承認されました。総代会は、組合員の代表の総代が、生協の活動のまとめ方針、組織・事業計画などを決める生協の最高議決機関です。ここで決まった活動方針に沿って、今年度、みんなで取り組みを進めていきます。重点的に取り組む組織活動について、紹介します。

※(総代定数500=本人14名・代理1名・書面481名)



議案の提案を行う渡邊専務



採決の様子

共立社版「フードバンク・フードドライブ」に取り組みます

生協も地域社会の一員です。行政や他の団体とも協力をしながら、食品ロスの削減と生活困窮者の支援として

①くらしのセンター・共同購入での「共立社版フードドライブ」に取り組みます

コロナ禍で、なかなかくらしのセンターでの「フードドライブ」は進んでいませんが、4月4週に共同購入版「フードドライブ」に取り組み、1,012人の組合員から2,487個の商品を寄付いただき、地域生協ごとに、社会福祉協議会などへ贈呈し感謝の言葉を頂きました。今年度は、10月にも開催を予定しています。

②「コープフードバンク」への理解と協力を進めます

「コープフードバンク」は、東北の生協が協力して運営しています。商品は、主に生協と取引のある業者さんから無料で寄贈いただいています。しかし、商品の保管や移動の費用、人件費、活動を報告するニュースの発行など多額の運営費用が必要のため、事業を支えるための組合員サポーターを募っています。年会費、1000円です。みなさんのご協力をお願いいたします。※詳しくは…地域の組織部へ

③併せて、地域子ども食堂やサロン活動への協力や支援にも取り組みます

共立社は連邦制で、10の地域で理事会を持ち、様々なことを地域の組合員と相談して活動しています。同じ山形県内でも、地域ごとに色々な団体があり必要なものにも違いがあるかと思います。子ども食堂やサロン活動等にも、地域ごとに協力できることを相談しながら進めたいと考えています。



今年、4月4週に取り組んだフードドライブの商品を、社協に贈呈（天童生協）

再生可能エネルギーの比率が高く、CO₂（温室効果ガス）削減にもつながる『コープでんき』の普及を進めます

安全性の確保と使用済み核燃料の処理に問題のある原子力発電に頼らない電気の利用を広げます。20年度、山形県の水力発電所のエネルギーも加わり、さらに地産地消のエネルギー比率が高まった「コープでんきココエネ」。「みらい」にやさしいソフトでんき」と「くらし」にやさしいコスパでんき」の2種類からお選びいただけます。切り替えも簡単です。まずは、生協の職員にお声がけください。



2030年のありたい姿を描いた「～ともにつくる 持続可能な未来～ 生協共立社2030年ビジョン」※内容について知りたい方は、組織部までお問い合わせ下さい0235 (22) 5111

「～ともにつくる 持続可能な未来～ 生協共立社2030年ビジョン」出来ました！

10年後の共立社のありたい姿を描いた「～ともにつくる 持続可能な未来～ 生協共立社2030年ビジョン」が完成しました。

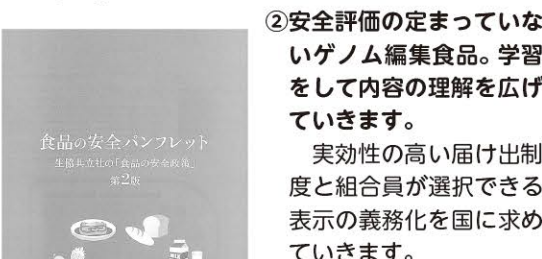
生協共立社は協同の力で「平和とより良い暮らし」の実現を目指し、「いつまでも住みつづけられるまちづくり」をスローガンに掲げ、さまざまな事業分野や業種の協同組合間で連携し、くらしや地域社会を守る事業や運動を組合員と共にすすめてきました。これまでの理念やスローガン、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」を土台としながら10年後のありたい姿をまとめました。今後、組合員と共有しながら、実現に向けて取り組みを進めます。

「食品の安全」を守るために、みんなで学習をすすめます

「食の安全」は、組合員が最も生協に期待することの一つではないでしょうか。組合員の期待を裏切らないように、職員と組合員と一緒に学習を進めます。

①「食の安全」を守るために共立社が取り組んでいることをまとめた「食品の安全パンフレット」の最新版を作成しました(2021年4月)。

今後、資料をもとに、職員・組合員の学習を進めていきます。



今年度、刷新した「食品の安全パンフレット」第2版 このパンフレットをもとに学習を進めていきます

今年度、刷新した「食品の安全パンフレット」第2版 このパンフレットをもとに学習を進めていきます

組合員の願いの実現と安定した事業運営のための積立増資を増やします

生協は、思いを同じくする組合員が、自分たちのくらしの願いをかなえるための組織(協同組合)です。共通の願いの実現のため、安定した事業運営の為に、元手となる出資金が必要です。

- ①「最低出資金5,000円」「だれもがめざす出資金5万円」を目標に取り組みます。
- ②共同購入とくらしのセンターを中心に、積立増資への参加をすすめる取り組みを継続します。